

# 安倍 9 条改憲NO！

## 辺野古新基地建設は断念を！

“19日国会前行動“が統一地方選挙の終盤の中開かれました。2400名の市民が議員会館前で「辺野古新基地建設は断念を」「政府は沖縄の民意に従え」「安倍9条改憲NO」「憲法審査会を始動させるな」のプラカードを掲げての抗議の集会。

立憲民主党・共産党の国会議員からはそれぞれに自民党の萩生田幹事長代行の発言“令和の新しい元号です。憲法審査会をワイルドにやっっていく”“消費税増税で崖に向かってみんなを連れていくわけにはいかない”へ鋭く批判。

憲法審査会は与野党合意の上で慎重に静かな環境で審議していくことが建前だが其の審査会を“ワイルドに(荒々しく)”やっっていくとの発言は許せない。絶対に審査会を始動させないと。又、崖っぷちになっているのはアベノミクスの結果であり経済政策の誤りを是正すべく消費増税はストップと。

辺野古での沖縄県民の闘への連帯を訴える発言もありました。

沖縄県知事の「埋立て承認の撤回」に対する防衛省の行政不服審査を、国交大臣は“防衛省は一人だから”“軟弱地盤を国が改善できる”と言って撤回の失効を決定。国の機関・防衛省を私人だとしてまで法律をねじ曲げてでも埋め立てを強行する国の動きに憤りを持って批判。

更に今埋め立てしている浅瀬の土砂は全体の4%程。大浦湾の軟弱地盤を埋め立てるにはあと94%の土砂を日本全国から調達しなければならない。翁長知事の遺志を継いで絶対につくらせない！本土を含めた全国の闘いを！と訴えました。“知事選・県民投票と沖縄県民ははっきりと埋め立て反対の意思を示しました。それなのに土砂をぶち込む日本政府の行為は民主主義ではない。沖縄と連帯して本土が意思を示す時”と。

高田さんは「2017年の安倍改憲の提案から2020年が迫っている。でも3000万人署名や市民野党共闘によって改憲発議をさせないでいる。この国会で改憲発議をさせない！そして参議院選挙で改憲勢力3分の2を崩すことが今私たちがやらなければならないこと」とアピール。

安倍9条改憲への発議は日程的に最終局面に入っています。ここで絶対に発議させない！絶対に憲法審査会を始動させない！の意思で安倍改憲を断念させ安倍政権を退陣させようとの緊迫感のある集会でした。

辺野古の問題は沖縄だけの問題ではなく日本全国民の民主主義と平和にかかわる問題です。“辺野古新基地反対を実現していく”ことが私たち一人一人に問われています。

民主主義を市民の手に取り戻そう！

戦争法を廃止して平和を造っていこう！

安倍改憲をつぶして立憲主義を確立しよう！

民主主義と自治そして平和主義！ふじしろ政夫

047-445-9144

